

職場で起きる問題克服のため 組合員みんなが考え実践しよう

JR東日本労働組合新潟地方本部
星山執行委員長 年頭あいさつ

組合員の皆さん、明け
ましておめでとうござ
います。
日頃から職場からた
たかいを創り出して
いただいていることに感
謝を申し上げます。
新春においても新潟
支社管内の厳しい気象
条件の中で安全・安定輸
送やお客さまの対応に



奮闘していることに心
より敬意を表します。
昨年11月に1名の平
成採用組合員の加入が
実現しました。東日本ユ
ニオンを選択して頂い
た新たな仲間を心から
歓迎すると共に感謝申
し上げます。
この間、私たちは業務
的課題の改善を通じた
組織の強化・拡大にこ
わり実践してきました。
このようなたたか
いや姿勢、職場におけ
る私たちの存在に共感
られ、加入に至った
うことを自信と励みに
し、労働組合として取
組むべき労働条件の向
上等を職場からのた
たかひによって創り出
すことに更に邁進して
きます。

昨年4月16日に文字
通り全組合員と共に創
り上げ開催した労働運
動の一元化を目指す大
集会で、労働運動一元
化のスタートを切りま
した。
新潟地本の課題の1
つは明確に組織拡大
す。5年後の組織を展望
し、職場に労働運動を
残すため、労働運動の
一元化を実現するために
何をなすべきかが問
われています。

職場で発生するあら
ゆる事象に対して組合
員1人ひとりが方針を
考え実践する組織を目
指し奮闘していきます。

現在、全地本の問題と
なっているエルダー社
員制度についてシニア
組合員のために全組合
員でたたかひを創り出
してきました。

2017年度年末手
当は「過去最高」とい
言葉がズバリと並ぶ決
算と、JR発足30年と
いう区切りの年でもあ
り、この間、好調な業績
を創り出してきた奮闘
があるからこそ期待
感がありました。

2017年度年末手
当は「過去最高」とい
言葉がズバリと並ぶ決
算と、JR発足30年と
いう区切りの年でもあ
り、この間、好調な業績
を創り出してきた奮闘
があるからこそ期待
感がありました。

連結決算も増収増益。
営業収益は6期連続の
増収かつ、第2四半期決
算として過去最高。ま
た、全ての利益が過去最
高でした。

私自身も本当に悔し
い気持ちで一杯でした
が、一方で私たちの組
織のなれたたかひによ
って「労働者」が確実に
増えてきています。

12月3日に地本とし
て開催した「エルダー社
員制度の誠意ある運用
を求める大集会」には世
代を超えた多くの組合
員が結集しました。

これまでも私たちは
職種や世代、支部・分
会などの地域や機関の
枠を越えて、様々な課
題に対して問題を共有
し議論を重ね取り組
みを出してきました。

労働者の期待を裏切る低額回答 悔しさと教訓を次のたたかひへ!

2017年度年末手
当は「過去最高」とい
言葉がズバリと並ぶ決
算と、JR発足30年と
いう区切りの年でもあ
り、この間、好調な業績
を創り出してきた奮闘
があるからこそ期待
感がありました。

過去最高の業績を創
り出してきた私たちJ
R労働者が抱く「満額回
答」への期待感を大き
く裏切る回答でした。

16日、会社側は3.18
ヶ月との回答を行いま
した。

全組合員が労働運
動の主人公です。職場
からの発意・行動・実
践によって更なる組
織の強化・拡大を
実現する年にし
ていきたいと思います。

2018年元旦

闘春



JR東日本2017
年度第2四半期決算、単
体決算は増収増益、営業
収益・運輸収入が6期連
続の増収かつ、第2四半
期としては過去最高と
なり、さらに経常利益お

私自身も本当に悔し
い気持ちで一杯でした
が、一方で私たちの組
織のなれたたかひによ
って「労働者」が確実に
増えてきています。

エルダー社員制度の
誠意ある運用を求める大集会

組合員、御家族の皆
さんのご健勝を祈念し
まして年頭の挨拶とし
ます。